

事業報告書

1 支援団体名	朝倉わんぱく子ども応援団
2 事業名称	高木地区ホタル再生プロジェクト
3 実施日時	令和2年4月1日～令和3年3月31日
4 実施場所	朝倉市内（高木・黒川地区など）
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>コロナ渦の中イベント開催が危ぶまれましたが、3密を避けながらできることを企画し、大きな怪我・問題等無く第6回の運営を行うことができました。実際の活動では、寺内ダム上流の朝倉市黒川高木地区にてホタルが住みやすい環境づくりを目指し、川の清掃、ホタルの餌となるカワニナの餌やりを行ったほか、講師を招きホタルが育つ環境について学び、半年間観察を続けてきました。また、寺内ダム職員の方からダムの重要性、水資源の大切さについて子ども達に教えていただきました。</p> <p>さらに、今回の活動を写真展として掲載し、発表・発信する事で、より多くの方に水資源の大切さやダムの重要性・災害の恐ろしさについて伝えることができました。</p>
	<p>(事業実施効果)</p> <p>2017年の九州北部豪雨災害により被害を受けた川の清掃や生き物との触れあい、寺内ダムでの学びを通じ、災害の風化防止・自然の楽しさ、恐ろしさ・ダムの重要性について子ども達が考える貴重な体験となったのではないかと思います。子ども達からは「あの時の災害を忘れてはいけない」などの感想が見られました。幅広い学年・地域・年代と交流する事で協調性を育み、また様々な会場で発表・発信する事で子ども達のコミュニケーションの能力向上が図れたのではないかと考えます。</p>
6 参加内訳	総人数 220 名
	(1) 主催者参加 32 名
	(2) 日本人参加 ((1)を除く) 188 名
	(3) 外国人参加 ((1)を除く) 0 名
7 今後の方針	<p>保護者などからも今後の活動継続を希望する声も多く、次年度以降もホタル再生の実現に向けての活動をしていきたいと考えます。</p> <p>さらに、多くの方にダムや水環境の大切さを身近に感じてもらえるよう、この活動を広く情報発信していきたいと思っています。</p>

寺内ダム上流の清掃活動



水資源機構職員によるダムの勉強会



レクリエーション（寺内ダムの背面のぼり）



講師による水自然環境についての勉強会



レクリエーション（火起こし体験）



これまでの振り返りと卒団証書授与式

